

# Carbon Terrain

## 二酸化炭素排出量でみる日本の地形

### 脱炭素化に向けた第一歩： 二酸化炭素排出量の空間的な詳細の把握

都市や地域の脱炭素化に向けた計画を立案するための第一歩として、現状の二酸化炭素排出量の空間分布を詳細に把握することが重要です。

Carbon Terrain は、3次元メッシュ単位(約1kmメッシュ単位)の建築部門(家庭部門+業務その他部門)、運輸部門の二酸化炭素排出量を推計し、その合計値を地形の標高値に見立てて3次元表示したものです。国勢調査、家庭部門の二酸化炭素排出実態調査やエネルギー消費統計調査、全国道路・街路交通情勢調査などの統計データに加え、携帯端末位置情報に基づく流動人口等のビッグデータを活用し、部門別月別の推計を行いました。

右の図では、2020年を対象に推計した二酸化炭素排出量を表示しています。東京や大阪、名古屋などの都市圏、主要都市とその周辺の排出量が高いことが確認できるとともに、右下の東京周辺の拡大図にあるように都市内の排出量の空間分布を確認できます。

部門別月別の空間分布や推計の詳細は、環境アセスメントデータベース EADAS(環境省)の全国二酸化炭素排出推計量メッシュマップで閲覧可能です。

